



【 準備 -メイク道具- 】

メイクするには様々な道具が必要となります。

筆やスプレーなどはそれなりに値段の張るものもありますが、最近では100均で手に入るものもあります。自分に合うものを必要なだけ揃えればメイクは出来ます。何が必要なのか？どんな風にしたいのかを調べ、メイクにチャレンジしてみてください。

私が普段使用している道具を紹介致しますので、今後の参考としてご覧ください。



Mr.カラー

【 着色用画材 -塗料- 】

着色用画材としてよく使用されるのはMr.カラー（ラッカー系塗料）、アクリル絵の具です。

普段私が使用しているのは、Mr.カラーです。うすめ液を使用し、濃度を調整しながら筆描き・エアブラシ塗装用の塗料として使用しています。

【塗料の特徴】

Mr.カラー …… 揮発性の塗料で乾くのが早い。臭いが強い。水では塗料を落とすことはできないため、専用のうすめ液を使用する必要がある。（うすめ液も揮発性なので臭いが強い）

アクリル …… 臭いもなく、水で薄めたり、乾く前であれば水で修正できるため、比較的扱いやすい。Mr.カラーに比べ乾くのは遅く、乾いていない間は二度塗り出来ない。また、乾くと耐水性になるため、完全に乾いた後の修正はうすめ液でも落としにくくなる。

その他にも、水で溶ける水彩色鉛筆を使用する場合もあります。メイクを初めてする方はアクリルのほうが扱い易いかもかもしれませんが、お好みの塗料をご使用下さい。（Mr.カラーは要換気）



アクリル絵の具

【 着色用画材 -パステル- 】

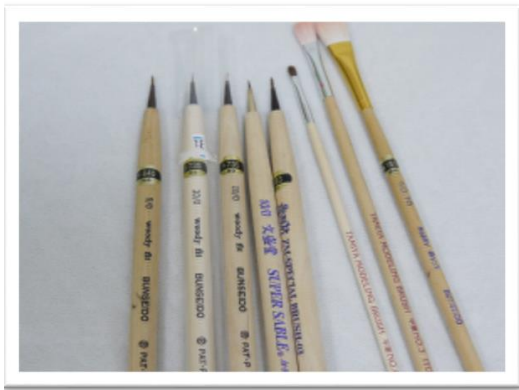
全体の着色にはエアブラシかパステルを使用します。

画材屋さんに行くと色々なメーカーのパステルがありますが、四角い物は油で固めているため、メイクには適していませんので、丸いタイプを使用して下さい。

ボックスでも単色のパステルを扱っています。多少単価は高いですが、そちらを利用するのもよいかと思います。

参考画像では様々な色のパステルを用意していますが、実際に使うのはごく限られた色だけだと思います。自分のメイクに合った必要なものを揃えて下さい。





【 着色用画材 一筆一 】

私は筆描き用の筆2種と、パステル用に幅の違う面相筆を3種程度使用しています。

私が使用している筆を紹介します。参考にどうぞ。

【描筆】

- 造形村 ZM-SPECIAL BRUSH-03
- BUNSEIDO文盛堂 プラモデル塗装用極細面相筆 Woody fit 10/0

【パステル用】

- BUNSEIDO文盛堂 平筆 No.10
- TAMIYA 平筆 No.1
- TAMIYA 平筆 No.3

ボックスのメイク教室では造形村 BRUSH-03や05など、毛量の多いものを推進されています。（毛が太いため水分をよく含む）

この筆でなければいけないということは全くありませんので、自分の手になじむ良い筆を根気よく探して下さい。



【 コーティングスプレー 】

塗料の剥げを抑えるために、作業工程に数回コーティングスプレーを吹きかけます。

コーティング用スプレーにも種類があり、UVの有無や、パステル用など各メーカーから塗料に合わせたものが発売しています。

湿度の高い時にスプレーを吹いた場合は、表面が膜を張ったように白くなりますので、天気の良い日によく換気をした状態で吹きましよう。

スプレーは必ず『つや消し』にして下さい。

【 その他 】

他にも、綿棒・ティッシュ・コットン・やすり等々必要なものはたくさんありますが、100円均一などで揃えられる物もありますので、無理のない範囲で道具を揃えてメイクを始めてみてください。

【メイクを始める前に・・・】



『メイクオフ作業』

メイクが施されている場合は、うすめ液などを使用し、塗料を全て落としてください。
塗料が落ちにくい場合は、うすめ液をたっぷり含ませたコットンをバックのようにヘッドに貼り付け、少し置いておくと塗料がはがれやすくなります。
ただし、長時間放置するとキャストが痛みますので気を付けてください。

購入したばかりのノーメイクヘッドは離型剤という油のようなものが表面に付着していますので、中性洗剤（台所用洗剤）を使用し、洗い流してください。
離型剤は油ですので、ぬるま湯と中性洗剤との洗浄が効果的です。
洗浄したヘッドは半日以上おき、完全に乾かしてください。

匂いはきついです。が、キャストクリンを使用する方法もあります。

ヘッド表面を紙やすりやスポンジやすりを使用し、表面を研磨し整えてください。
あまり目の粗いやすりを使用するとヘッドに傷が付くので、#800～1000→#1200～1500のように少ない番号から多い番号の順で使用してください。

やすりをかける時は、力を入れず、軽く円を描くように削ってください。

ヘッドへの塗料の沈着を防ぐ、パステルを乗りやすくするために、コーティングスプレーをベースに吹いてください。
ただし、メイクを失敗し直す際には下地を吹き直す必要があります。



『イメージを固めよう』

感性のまま進めるのも良いですが、作業を始める前には、どんな子にしたいか、どの色でまとめるかなどメイクイメージを固めましょう。
イラストの描ける方は、実際に書き起こしてみるのもよいですし、イラストの描けない方は文字にしてみましょう。

メイクイメージ：可愛い・男の子 チーク：オレンジ リップ：オレンジ 鼻：ブラウン 縞模様 等

【 メイク手順 】

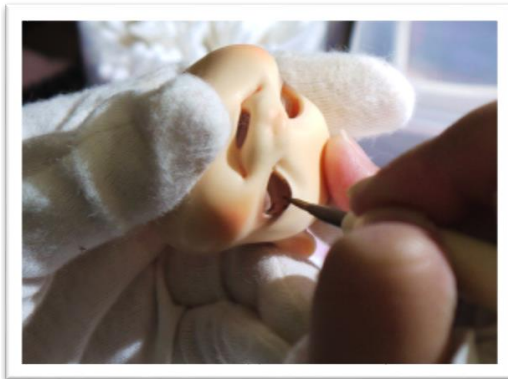


① 塗料を選びます。

パレットに好みの色を作り、Mr.カラーの場合はうすめ液、アクリルの場合は水で調整しながら色を作ります。

※ うすめ液、Mr.カラーを使用する場合は、しっかり換気を行ってください。

筆の使い方は、基本上から下に向かって描きます。利き手と反対側はとても描きにくいのですが、ヘッドの向きを変え、上から下に描き込んで下さい。



ヘッドに指を添えると安定して描きやすくなります。皮脂が付くのでよく手は洗いましょう。

② アイラインを描きます。

細さや長さを変えることで目元の印象は随分と変わります。イメージに合わせた描き方をしてください。



・普通のライン



・切れ長のライン



・丸みのあるライン

好みですが、目の下の際にも黒やブラウンでラインを入れると、よりはっきりとした表情になります。

目の下の粘膜部分は、水分を多めに含めた筆の腹部分で塗ることで華やいだ表情になります。色は薄めの赤、ピンクを使用してください。パステルや水彩色鉛筆で着色しても大丈夫です。

③ 下睫毛の描き方について。

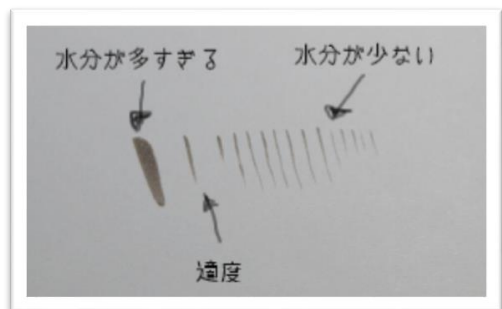
睫毛の描き方も、直線、クロス等様々あります。

目頭側から目尻に向けて、初めは短く、目尻に行くほど長く、扇状のように描き込みます。長く・短く・短く・長くといったように、ばらつきを持たせたほうがより自然な睫毛に見えます。

筆に水分を含み過ぎると線が太くなりやすく、少なすぎると線がかすんでしまいます。

適度な水分量、力の加減を覚えるために、パレット上で何度か試し描きをしてから描き始めましょう。

薄めで描き込み、上から濃いめに二度描きをしたり、水彩色鉛筆で直に描くのもよいかと思えます。





参考：麻呂つり眉

④ 眉毛の描き方について。

メイクで一番難しいのが眉描きかと思います。
人型ドールに比べ、動物ドールは眉がない場合もありますので
必要な場合は以下を参考にチャレンジしてみてください。

まずは左右のバランスを考え、パステル等でアタリを付けます。
描き始めは、出来るだけ薄い色で描き、眉尻にかけて徐々に
色を濃くしていきます。
マロ眉の場合は、パステルだけでも大丈夫です。

眉で表情が決まると言っても過言ではありません。
眉尻を上げれば凛とした表情に、下げれば甘い表情になります。

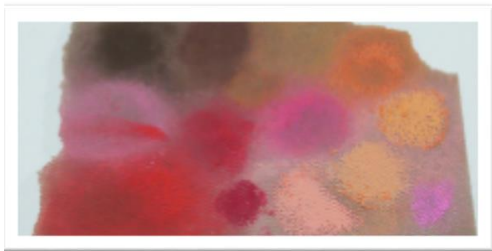
色の濃さ、毛の流れ、角度に気を付けながらイメージに合った
描き方をしてください。



参考：たれ眉



参考：つり眉



⑤パステルで着色をします。

筆メイクが終わりでしたら、パステルを乗せていきます。
紙やすりやスポンジやすりを使用し、パステルを削ります。

円形のパステルは柔らかいので、力を入れず円を描くように
回せばすぐに粉状になります。

まずは薄い色でパステルを乗せ、イメージを固めましょう。

初めは色が乗りにくいのですが、この後の工程でスプレーを
吹き、色を濃くしていきますので問題ありません。

パステルを乗せる箇所は、左の画像で囲んでいる通りです。

色のはみ出たり、余計なところに色がついてしまった場合は、
スポンジ（びかっとキレイ等）を使用し、軽くこすれば落とせます。

また、パステルを乗せると、線がぼやけてしまうこともありますが、
その場合は工程の最後に濃い色で描き入れ直してください。





画像はパステル1回目

⑥スプレーを吹きます。

ある程度色を乗せたら、コーティングスプレーを吹きます。それぞれの特徴がありますので好みのスプレーをご使用ください。

【 スプレーの特徴 】

[パステル定着スプレー]

通常のコーティングスプレーよりパステルが定着するが、ムラになりやすい。

[フィニッシングパウダーUVスプレー]

乾きが早くムラにもなりにくいが白っぽくなる。

[Mr.スーパークリアー(つや消し)] UV有無あり

乾きが早くムラにもなくザラつきも少ない。(主観です)

【 スプレーをかける時は… 】

- 缶をよく振り、中の溶剤が混ざるようにしてください。(UVスプレーの場合は、カランカランと音がします。)
- ヘッドから25cm以上離し、全体に吹きかけます。
- 吹いたあとはよく乾かします。
- 雨の日など、湿度が強い日は避けましょう。(表面が白っぽくなってしまいます。)

※ 乾燥は最低でも1時間～半日は見ておいてください。



画像はパステル3回目

⑦ パステルをさらに乗せていきます。

⑥から⑦の作業を、好みの色になるまで繰り返し替えます。(私は3回ほど繰り返します。)



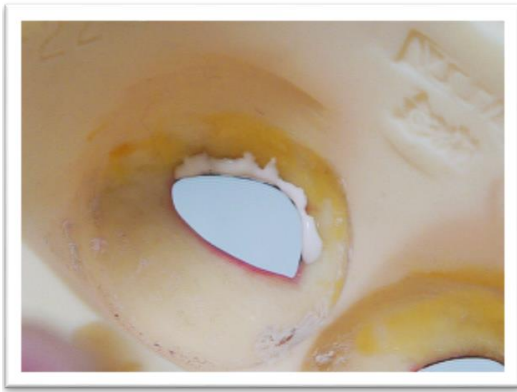
目元のみクリアあり

⑧ 目元、リップ、鼻などにクリアを乗せます。

クリアも種類がたくさんありますが、Mr.カラーを使用されている場合は、同じMr.カラーのクリアではなく、必ず水性アクリルのクリア使用してください。

ラッカー系同士を重ねると溶剤が溶けますので気を付けて下さい。(私は『タミヤカラー X-22』を使用しています。)

一度塗っただけでは艶がなかなか出ませんので、乾かしながら何度か塗ってください。



⑨ 睫毛を貼り付けます。
(サンプル画像は人型ドールです。)

睫毛は人間用でもドール用でもどちらでも結構です。
必要分だけ切り、粘着部分を指やぬるま湯で綺麗に取り除きます。

睫毛の貼り付け方は、上向きと下向きの2パターンあります。

上向き…明るく華やかな印象
下向き…節目がちで優しい印象

睫毛の長さにより、奥側に貼り付けるか、際に貼り付けるかが
変わりますので、貼り付ける前に確認してください。

そのまま貼り付けると睫毛がアイにかかってしまうので、
人間用の睫毛カーラーを利用し、軽くカールを付けた方が
よいかと思います。

貼り付ける準備が整いましたら、木工用ボンドをアイの裏側に
塗り、睫毛を貼りましょう。



画像は上向きに貼り付けています。

睫毛を貼り付けましたので、ボンドをじっくり乾かしましょう。(1~2時間で乾きます。)

以上でメイク作業は完了となります。

【 完成 】

メイク完成です！

メイクは一朝一夕には上達しませんが、根気良く続けることで
徐々にコツが掴めてきます。
イメージ通りのメイクが出来るまで頑張ってください。

お疲れ様でした！



Griotte フジオ

<http://www.griotte.info/>
griottefujio@gmail.com